

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和7年1月8日発行（1月号）

幸せがますます増す年に

校長 三浦 伸之

1月6日は仕事始めでした。職員玄関の前で野球部の生徒たちから「おはようございます。あけましておめでとうございます。」と、いつもと変わりのない元気な挨拶をもらいました。生徒たちのおかげで大変気持ちのよい仕事始めの日を迎えることができました。

この後、部員と顧問の先生で横曽根神社に初詣に行くとのことでした。横曽根神社は西中の近くでいつも学校の様子を見ていただいている神社さんですから、今年も西中生の活躍をぜひ見守って欲しいと思います。よろしく願いいたします。

あらためまして西中にかかわるすべての皆様、あけましておめでとうございます。皆様にとって幸多き年となるようご祈念申し上げます。

今年の干支は、60年周期の干支の中で42番目の「乙巳（きのと・み）」です。「乙」とはしなやかに伸びる草木を表し、「巳」は動物に当てはめると蛇になります。蛇は脱皮しながら再生と変化を繰り返し成長する動物であることから、2025年は再生と変化を繰り返しながらしなやかに発展していく年になるとのことです。目まぐるしく移り変わる現代ですが、少しはゆったりと安定した普通の日々が送れる年となればいいなと思います。

川口市の小中学校には校務で使用するファックス機は校長室に設置されています。冬休みのある日、ファックス送信をするために来室したある先生に「お正月はゆっくりできましたか。」と聞いたところ、「夫の実家がある山口県へ行ってきました。」というお話を伺いました。そういえば、山口県には「幸せます」という代表的な方言があり、その言葉を紹介したあるテレビ番組のことを思い出しました。

「幸せます」とは、「幸いです」、「便利です」、「助かります」、「うれしく思います」、「ありがたいです」という意味で使われています。山口県防府市（ほうふし）では「幸せます」は「幸せが増す」との意味が付け加えられ、防府市のブランドにもなっています。

「幸せます」の使われ方には、「そうしていただけると幸せます（助かります）」、「お返事いただけますと幸せます（幸いです）」、「〇〇をいただいて幸せます（嬉しいです）」などがあります。このような会話が日常に溢れていることを想像したら、この方言を持つ山口県民の皆さんが何だか羨ましく思ったことを思い出しました。ちなみに埼玉県にもいろいろな方言があるようです。早朝のことを「朝っばら」、片付けることを「片す」、押すことを「おっぺす」などです。ちなみに私はこの3つの言葉を何気に使っています。「何気に」という言葉も埼玉県で使われていた言葉が俗語化したという説があります。日頃から埼玉弁を使っていることに気づきました。

「教育は二等辺三角形で表すことができます。頂点のAが子ども、Bが家庭、Cが学校とするとBの家庭とCの学校が近づくと、Aの子どもは高くなり向上していきます。逆に家庭と学校が離れると子どもは低くなり低下していきます。だから子どもの向上には家庭と学校の関係はとても大切なのです。」という言葉聞いたことがあります。

西中といたしましては、このことを心して教育活動を実践して参ります。

今年も保護者の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

